

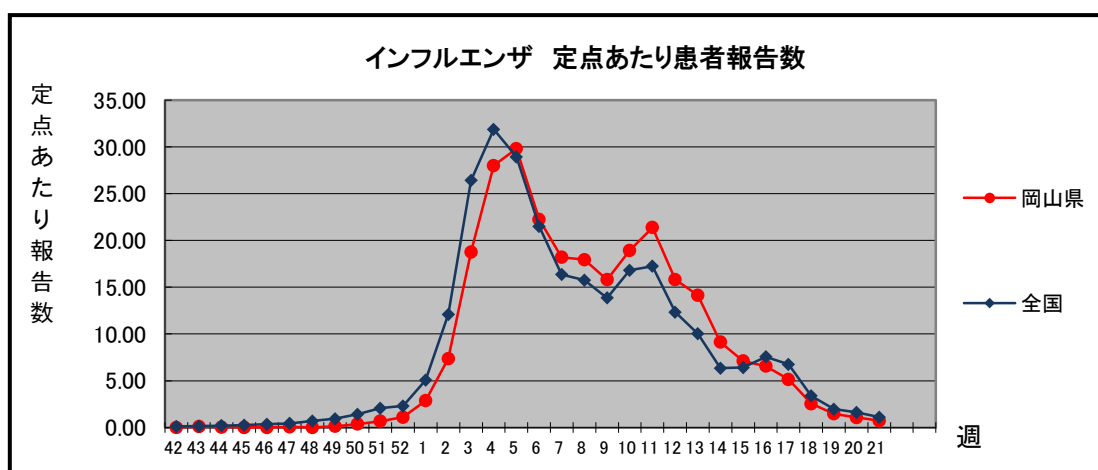
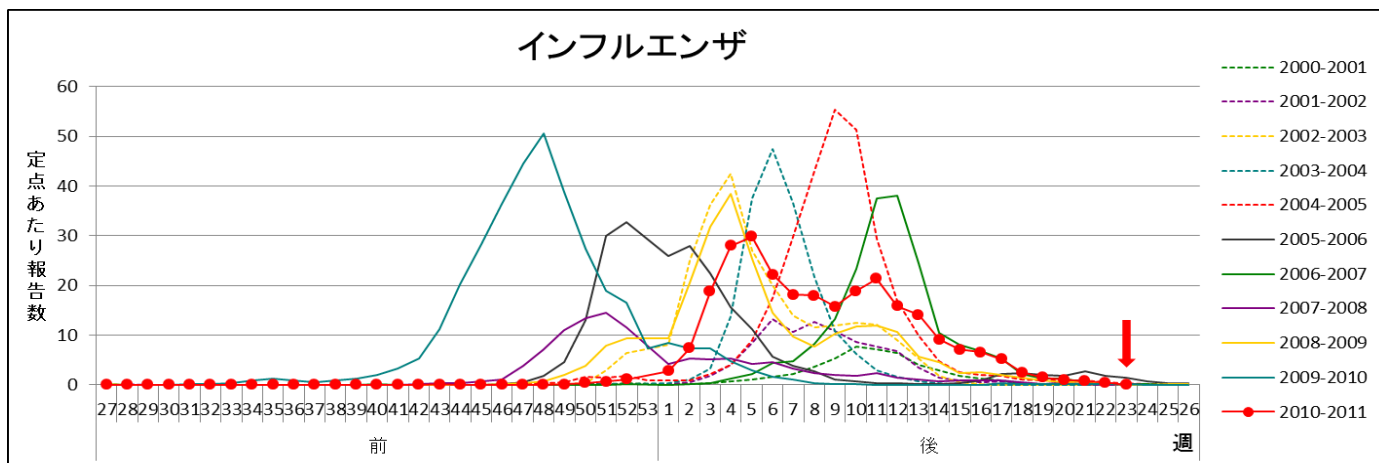
# 岡山県 インフルエンザ発生状況

## ( 2010 / 2011 シーズンのまとめ )

岡山県における 2010/2011 シーズン ( 2010/7/5 ~ 2011/6/12 ) 県内定点医療機関 84 定点から報告されたインフルエンザの発生動向をまとめました。

岡山県では、2010 年 第 52 週 ( 2010/12/27 ~ 2011/1/2 ) に定点あたり患者数が 1.11 人となり、流行に入りました。以降、急速に拡大し、2011 年 第 2 週 ( 1/10 ~ 1/16 ) に定点あたり患者数が 7.37 人となり、岡山県は 1 月 20 日、インフルエンザ注意報を発令して注意喚起を行い、予防ならびにまん延の防止をはかりました。さらに患者数は増加し、2011 年 第 5 週 ( 1/31 ~ 2/6 ) には、定点あたり患者数が 29.81 人となり、今シーズンのピークを迎えました。その後、定点報告数は減少していましたが、第 11 週 ( 3/14 ~ 3/20 ) には定点あたり患者数が微増しました。過去にもピークを迎えた後に再度微増して減少するシーズンが見られました ( 2008/2009 シーズン)。第 11 週以降、定点あたり患者数は徐々に減少していき、第 21 週 ( 5/23 ~ 5/29 ) 0.73 人、第 22 週 ( 5/30 ~ 6/5 ) 0.46 人と、2 週連続して 1.00 人を下まわりました ( 第 23 週 0.06 人)。そのため、岡山県に発令されていたインフルエンザ注意報は 6 月 9 日をもって解除になり、今シーズンのインフルエンザの流行は終息したと考えられます。

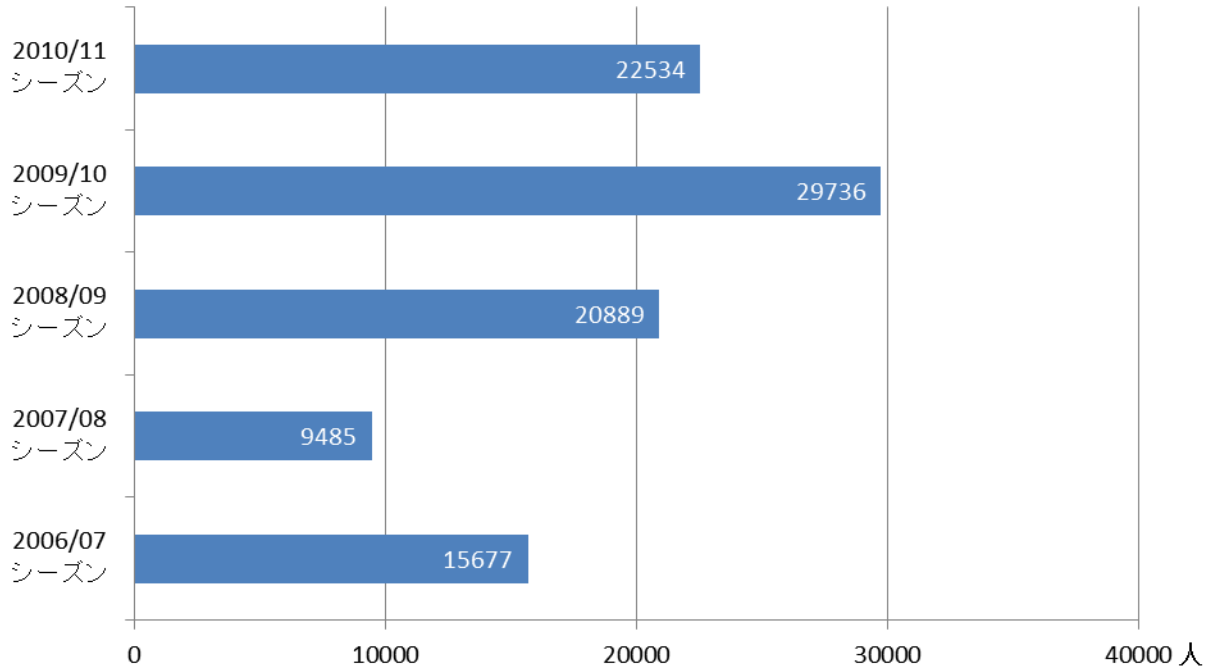
全国でも、岡山県と同様の発生状況で推移し、2010 年 第 50 週 ( 12/13 ~ 12/19 ) に定点あたり報告数が 1.41 人となり、流行に入りました。その後、2011 年 第 4 週 ( 1/24 ~ 1/30 ) に定点あたり患者数は 31.88 人となり、流行のピークを迎えました。以降、定点あたり患者数は減少しましたが、2011 年 第 10 週 ( 3/7 ~ 3/13 ) に定点あたり患者数が微増しました。その後患者数は徐々に減少し、第 22 週 ( 5/30 ~ 6/5 ) に定点あたり患者数が 0.82 人となり、1.00 人を下まわりました。



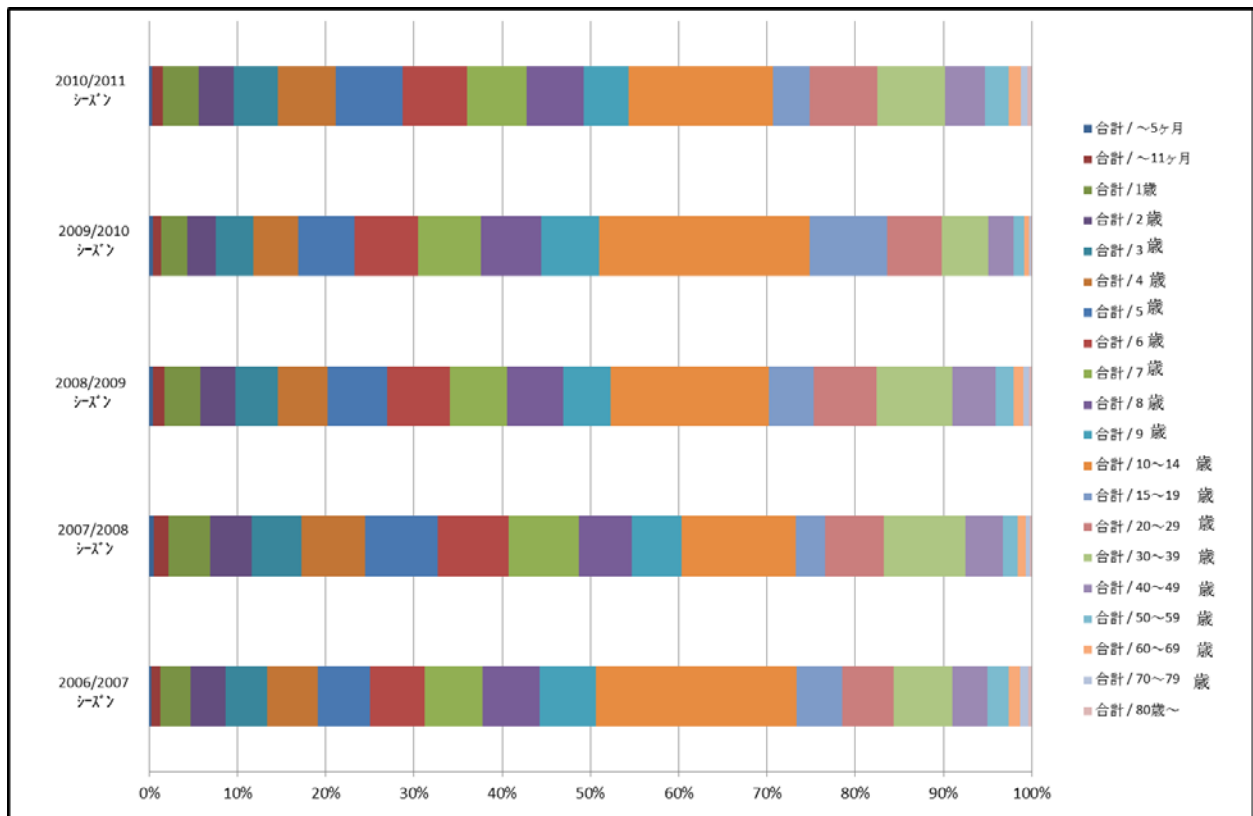
2010/2011 シーズンの患者報告数は **45,068** 人となり、過去 5 年間では新型インフルエンザが猛威をふるった 2009/2010 シーズンにつづく、患者発生が多いシーズンとなりました。

年齢別発生状況は、10 ～ 14 歳の発生が最も多く (16.3%)、つづいて 20 ～ 29 歳、30 ～ 39 歳の発生が多く、昨シーズンよりも 10 代の感染が少なくなり、20 代、30 代の感染が多くなりました。

インフルエンザ シーズン別 定点医療機関からの患者報告数



インフルエンザ シーズン別 発生年齢分布



# 岡山県 2010/2011 シーズン インフルエンザウイルス検出状況

## ( 岡山県環境保健センター 検出分 )

2010/2011 シーズンにおいて岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルス 119 株の検出割合は A H1 pdm 型（いわゆる新型インフルエンザ）が最も多く 68 株（ 57 %）、A H3 型（いわゆる A 香港型インフルエンザ）が 30 株（ 25 %）、B 型が 21 株（ 18% ）でした。

月別検出状況では、12 月は B 型が主に検出されましたが、それ以降 1 月、2 月中旬の流行期は A H1 pdm 型が主流になり、その後患者数が再び微増した 3 月には、A H3 型が主に検出され、4 月には B 型のみを検出となりました。

